

堺市共通版「架け橋期のカリキュラム」の見方・活用の仕方

堺市共通版「架け橋期のカリキュラム」とは？

各関係団体の代表者と専門家による「架け橋期のカリキュラム」開発会議を全7回開催し、3要領・指針や学習指導要領を基に、堺市として架け橋期の子どもたちにどのような力を育みたいのか共有しながら、幼児期から小学校へのつながりを大切にしたいカリキュラムを作成しました。「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりに、幼保小の先生方が共通の視点をもって各学校園の教育課程や指導計画・全体的な計画等を具体化できるよう、一緒に振り返って評価し、改善・発展させていきたいと思います。

育みたい資質・能力

堺市のめざす架け橋期の子ども姿をもとに、幼児期から高等学校まで共通してつながる「育みたい3つの資質・能力」を視点に記載することで、**子どもの育ちを見通せるようにしました。**1年生の方には、生活科だけでなく各教科等も含めた生活全体に関わる内容を記載しています。

5歳児の架け橋期に大切にしたい主な内容例

各園によって方針や特色ある取組があることを踏まえ、ここには特定の遊びや活動を取り上げるのではなく、予想されるその時期の遊びや活動を通して、**共通する大切にしたい内容例を5領域に分けて記載しています。**

小学校以降の学びとのつながりを意識しながら、架け橋期のそれぞれの時期にどのようなことを大切にするのか、各園のカリキュラムや保育内容を振り返ってみましょう。

「幼児教育堺スタンダードカリキュラム」



事例（遊びや学びのプロセス）

子どもの興味・関心から遊びや活動を広げていく中で、どのようなことを感じ、考え、何を学んでいるのか、またそれが次の遊びや活動にどのようにつながっていくのかをより詳しく、**事例（遊びや学びのプロセス）**として別紙にまとめています。

カリキュラムの試行の目的は？

実際の子ども姿から育ちや学びのつながりを捉え直す

幼保小の相互理解を深める

子ども

各学校園の実態に合ったカリキュラムの形を見つける

保育や授業の改善

そのために、どんなことができるかな？

架け橋連携グループでやってみよう！（内容例）

- 子どもの姿から各校区の「めざす架け橋期の子ども姿」について話し合う。
- 相互参観後に幼保小で、ともに討議。
- 「遊びや学びのプロセス」を5歳児と1年生で各1枚作成し実施。
- 1つの単元について幼保小で指導案を検討し実施。
- 共通版カリキュラムの文言や写真を実践したもの等に入れ替え、振り返りを実施。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」(10の姿)



架け橋期にそれぞれ大切なのは・・・

【5歳児】

遊びを通して「学びの芽」となる資質・能力を育みましょう！

興味・関心から、自分たちで遊びを生み出し、深めていく

満足いくまでとことん試したり考えたりする

一人一人が安心して自己表現する

等々

幼児期は小学校教育の前倒しや先取りではありません！

45分座っているように…

平仮名を書けるように…

小学校と同じように〇〇を使って…

これは本当の意味での連携？

【1年生】

小学校の学びは0からのスタートではない！

小学校教育の学び

幼児期の学び

参考「保育の学校3」無藤 隆 著 フレーベル館

円滑な接続を意識すると、子どもたちの学びがより広がるよ！
幼児期に培われた力を引き出す意識が大切だね。

堺市共通版「架け橋期のカリキュラム」Ⅱ（5歳児1～3月・1年生1学期）

堺市のめざす架け橋期の子ども姿

○自分や友達の様子に気づき、認め合いながら、自分の思いや考えを表現しようとする

○自分のやりたいことを見つけ、ねばり強く取り組む

育みたい資質・能力	1学期	2学期	3学期	小学校1年生
【知識及び技能の基礎】	・身のまわりのことや安全な生活に必要なことを意識しながら行動しようとする。① ・「こまや輪、ボールなど、自分のあてに向かって弾ませる経験を取り組む。② ・園生活やクラスの中で自分の役割を果たそうと、役立つ喜びを味わう。③ ・自分たちでゴールを決めて、遊びの中でゴールを目指す経験を味わう。④ ・力を発揮して取り組んだことや、できるようになったこと、自信を感じ、就学への意欲をもつ。⑤	・身のまわりのことや安全な生活に必要なことを意識しながら行動しようとする。① ・「こまや輪、ボールなど、自分のあてに向かって弾ませる経験を取り組む。② ・園生活やクラスの中で自分の役割を果たそうと、役立つ喜びを味わう。③ ・自分たちでゴールを決めて、遊びの中でゴールを目指す経験を味わう。④ ・力を発揮して取り組んだことや、できるようになったこと、自信を感じ、就学への意欲をもつ。⑤	・身のまわりのことや安全な生活に必要なことを意識しながら行動しようとする。① ・「こまや輪、ボールなど、自分のあてに向かって弾ませる経験を取り組む。② ・園生活やクラスの中で自分の役割を果たそうと、役立つ喜びを味わう。③ ・自分たちでゴールを決めて、遊びの中でゴールを目指す経験を味わう。④ ・力を発揮して取り組んだことや、できるようになったこと、自信を感じ、就学への意欲をもつ。⑤	・身のまわりのことや安全な生活に必要なことを意識しながら行動しようとする。① ・「こまや輪、ボールなど、自分のあてに向かって弾ませる経験を取り組む。② ・園生活やクラスの中で自分の役割を果たそうと、役立つ喜びを味わう。③ ・自分たちでゴールを決めて、遊びの中でゴールを目指す経験を味わう。④ ・力を発揮して取り組んだことや、できるようになったこと、自信を感じ、就学への意欲をもつ。⑤
【健康】	・身のまわりのことや安全な生活に必要なことを意識しながら行動しようとする。① ・「こまや輪、ボールなど、自分のあてに向かって弾ませる経験を取り組む。② ・園生活やクラスの中で自分の役割を果たそうと、役立つ喜びを味わう。③ ・自分たちでゴールを決めて、遊びの中でゴールを目指す経験を味わう。④ ・力を発揮して取り組んだことや、できるようになったこと、自信を感じ、就学への意欲をもつ。⑤	・身のまわりのことや安全な生活に必要なことを意識しながら行動しようとする。① ・「こまや輪、ボールなど、自分のあてに向かって弾ませる経験を取り組む。② ・園生活やクラスの中で自分の役割を果たそうと、役立つ喜びを味わう。③ ・自分たちでゴールを決めて、遊びの中でゴールを目指す経験を味わう。④ ・力を発揮して取り組んだことや、できるようになったこと、自信を感じ、就学への意欲をもつ。⑤	・身のまわりのことや安全な生活に必要なことを意識しながら行動しようとする。① ・「こまや輪、ボールなど、自分のあてに向かって弾ませる経験を取り組む。② ・園生活やクラスの中で自分の役割を果たそうと、役立つ喜びを味わう。③ ・自分たちでゴールを決めて、遊びの中でゴールを目指す経験を味わう。④ ・力を発揮して取り組んだことや、できるようになったこと、自信を感じ、就学への意欲をもつ。⑤	・身のまわりのことや安全な生活に必要なことを意識しながら行動しようとする。① ・「こまや輪、ボールなど、自分のあてに向かって弾ませる経験を取り組む。② ・園生活やクラスの中で自分の役割を果たそうと、役立つ喜びを味わう。③ ・自分たちでゴールを決めて、遊びの中でゴールを目指す経験を味わう。④ ・力を発揮して取り組んだことや、できるようになったこと、自信を感じ、就学への意欲をもつ。⑤
【人間関係】	・園生活の中で、自分の気持ちを表現したり、友達とやり取りをしながら、大人の友達と関わって遊ぶ。① ・年長児としての自覚をもつ。自分より年下の友達のことを思いやりながら関わる中で、頼りにされる心地よさを感じる。② ・友達のよさを認めたり、気持ちを伝え合ったり、お互いを認めたり、遊ぶ。③ ・これまでに生活の中でいろいろな人の関わりを感じ、感謝の気持ちをもつ。④	・園生活の中で、自分の気持ちを表現したり、友達とやり取りをしながら、大人の友達と関わって遊ぶ。① ・年長児としての自覚をもつ。自分より年下の友達のことを思いやりながら関わる中で、頼りにされる心地よさを感じる。② ・友達のよさを認めたり、気持ちを伝え合ったり、お互いを認めたり、遊ぶ。③ ・これまでに生活の中でいろいろな人の関わりを感じ、感謝の気持ちをもつ。④	・園生活の中で、自分の気持ちを表現したり、友達とやり取りをしながら、大人の友達と関わって遊ぶ。① ・年長児としての自覚をもつ。自分より年下の友達のことを思いやりながら関わる中で、頼りにされる心地よさを感じる。② ・友達のよさを認めたり、気持ちを伝え合ったり、お互いを認めたり、遊ぶ。③ ・これまでに生活の中でいろいろな人の関わりを感じ、感謝の気持ちをもつ。④	・園生活の中で、自分の気持ちを表現したり、友達とやり取りをしながら、大人の友達と関わって遊ぶ。① ・年長児としての自覚をもつ。自分より年下の友達のことを思いやりながら関わる中で、頼りにされる心地よさを感じる。② ・友達のよさを認めたり、気持ちを伝え合ったり、お互いを認めたり、遊ぶ。③ ・これまでに生活の中でいろいろな人の関わりを感じ、感謝の気持ちをもつ。④
【環境】	・自然環境を育んで大切に育ち、自然環境に興味をもつ。収穫したものの数や量、重さや長さなどを比べる。① ・「やがて実がつけだした、次の日もできるかと楽しみにしながら、冬の自然環境の不思議さや面白さを感じる。② ・「やがて実がつけだした、次の日もできるかと楽しみにしながら、冬の自然環境の不思議さや面白さを感じる。③ ・「やがて実がつけだした、次の日もできるかと楽しみにしながら、冬の自然環境の不思議さや面白さを感じる。④	・自然環境を育んで大切に育ち、自然環境に興味をもつ。収穫したものの数や量、重さや長さなどを比べる。① ・「やがて実がつけだした、次の日もできるかと楽しみにしながら、冬の自然環境の不思議さや面白さを感じる。② ・「やがて実がつけだした、次の日もできるかと楽しみにしながら、冬の自然環境の不思議さや面白さを感じる。③ ・「やがて実がつけだした、次の日もできるかと楽しみにしながら、冬の自然環境の不思議さや面白さを感じる。④	・自然環境を育んで大切に育ち、自然環境に興味をもつ。収穫したものの数や量、重さや長さなどを比べる。① ・「やがて実がつけだした、次の日もできるかと楽しみにしながら、冬の自然環境の不思議さや面白さを感じる。② ・「やがて実がつけだした、次の日もできるかと楽しみにしながら、冬の自然環境の不思議さや面白さを感じる。③ ・「やがて実がつけだした、次の日もできるかと楽しみにしながら、冬の自然環境の不思議さや面白さを感じる。④	・自然環境を育んで大切に育ち、自然環境に興味をもつ。収穫したものの数や量、重さや長さなどを比べる。① ・「やがて実がつけだした、次の日もできるかと楽しみにしながら、冬の自然環境の不思議さや面白さを感じる。② ・「やがて実がつけだした、次の日もできるかと楽しみにしながら、冬の自然環境の不思議さや面白さを感じる。③ ・「やがて実がつけだした、次の日もできるかと楽しみにしながら、冬の自然環境の不思議さや面白さを感じる。④
【表現】	・いろいろな素材や道具に触れ、自分なりに表現したり、つづきのものを友達と見せ合ったりすることを楽しむ。① ・自分の活動の理由や想像を言葉にして伝え、結果として話をしようとする。② ・相手の話を聞いて理解しようとする。③	・いろいろな素材や道具に触れ、自分なりに表現したり、つづきのものを友達と見せ合ったりすることを楽しむ。① ・自分の活動の理由や想像を言葉にして伝え、結果として話をしようとする。② ・相手の話を聞いて理解しようとする。③	・いろいろな素材や道具に触れ、自分なりに表現したり、つづきのものを友達と見せ合ったりすることを楽しむ。① ・自分の活動の理由や想像を言葉にして伝え、結果として話をしようとする。② ・相手の話を聞いて理解しようとする。③	・いろいろな素材や道具に触れ、自分なりに表現したり、つづきのものを友達と見せ合ったりすることを楽しむ。① ・自分の活動の理由や想像を言葉にして伝え、結果として話をしようとする。② ・相手の話を聞いて理解しようとする。③

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりに、幼児期の遊びを通して総合的な学びと、小学校の教科等を通じた自覚的な学びとのつながりを意識できるように、カリキュラムの中心に位置づけ、5歳児と1年生それぞれの内容例に10の姿の番号を記載しています。当ではまると考えられる10の姿は複数ありますが、その中から主に関連する姿を抽出しています。幼児期にどのような資質・能力が育まれているのか、また幼児期に育まれた資質・能力が小学校の学習のどのようなところにつながっているのか、それぞれの関連を意識して考えてみましょう。

どの子ども安心できる学校園生活のために

遊びや学びに向かう姿勢は、幼児期でも小学校でも「安心」できる環境のもとで発揮され、主体的な学びの基盤となります。そこで、一人一人が安心して生活できるよう、環境づくりや支援について、**幼保小で共通するポイント**をまとめました。幼児期と小学校のそれぞれの時期に、どのような援助や支援を行っているのか、互いに理解し、架け橋期における支援等を切れめなくつないでいけることを願っています。

